

横須賀美術館企画展

「中村光哉展」の開催について

- 1 展覧会名 横須賀ゆかりの友禅作家 なかむらこうや 中村光哉展
- 2 会 期 平成 29 年 2 月 11 日 (土・祝) ~ 4 月 16 日 (日)
* 無料観覧日: 2 月 12 日 (日)
* 休 館 日: 3 月 6 日 (月)、4 月 3 日 (月)
- 3 主 催 横須賀美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 4 協 賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
- 5 観 覧 料 一般 800 円、高大生 65 歳以上 600 円、中学生以下無料

6 概 要

横須賀の港の風景を友禅の技法で表現した、染色作家・中村光哉 (1922~2002)。

海をモチーフにした作品のほか、楽器や遊園地を題材としたろう染め作品も紹介され、色褪せないモダンな表現を楽しむことができる展覧会です。

【展覧会のみどころ】

- (1) ろう染めによる「黒の時代」— 個性的なデザイン
- (2) 友禅— 横須賀だからこそ、生まれたデザイン
- (3) 友禅の人間国宝・中村勝馬なかむらかつまとの親子競演展示
- (4) 陶芸作品など、染色以外の仕事にも注目

7 関連事業

- (1) ワークショップ『見て・聞いて・染めて知る ‘友禅’』
2 月 25 日 (土) 10 時 30 分 - 15 時
講師: ひらばやしよしこ 平林芳子 (染色家)
- (2) アート&アフタヌーンティー
3 月 4 日 (土) 14 時 30 分 - ギャラリーツアー
15 時 30 分 - アフタヌーンティー
- (3) 学芸員によるギャラリートーク
3 月 18 日 (土) 14 時 - (大人向け)
3 月 18 日 (土) 11 時 - (子ども向け)

色をきわめる、
海を染める。

横須賀
ゆかりの
友禅作家

中村光哉展

Nakamura Koya

2017 2 | 11 | 土・祝 |
2月12日(日)は無料観覧日です
▶ 4 | 16 | 日 |

開館時間：10時～18時 休館日：3月6日(月)、4月3日(月) 会期中、一部展示替えを行います。

観覧料：一般800(640)円、高大生・65歳以上600(480)円、中学生以下無料

* ()内は20名以上の団体料金および前売り料金 (前売りは2月10日まで) * 前売り券は美術館受付、横須賀芸術劇場チケットセンター (横須賀芸術劇場1階、横須賀中央駅モアーズシティ1階) でお求めになれます * 高校生 (市内在住または在学に限る) は無料 * 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添1名様は無料

主催：横須賀美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会

協賛：ライオン 大日本印刷 損保ジャパン日本興亜 日本テレビ放送網

〈好日〉1989年 横須賀美術館蔵

〒239-0813 横須賀市鴨居4-1 TEL.046-845-1211(代表)

ホームページ：<http://www.yokosuka-moa.jp/> モバイルサイト：<http://mobile.yokosuka-moa.jp/>



横須賀美術館
YOKOSUKA MUSEUM OF ART

横須賀の港の風景を友禪の技法で表現した、染色作家・中村光哉(1922-2002)。高度な技術に裏打ちされた彼の作品は、優美かつ大胆なデザインと独特な色彩感覚によって、見る者に強い印象を残します。

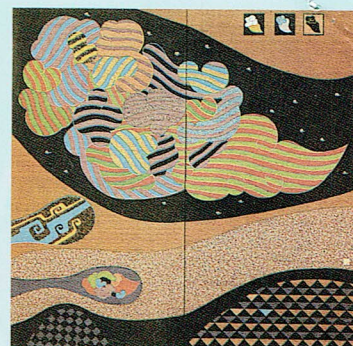
中村光哉は、後に友禪の重要無形文化財保持者(人間国宝)となる中村勝馬の長男として、東京に生まれました。東京美術学校日本画科を卒業後は、友禪の因襲から意図的に離れ、ろう染めによる黒を基調とした作品を制作しました。この「黒の時代」と呼ばれる頃に、中村は楽器や遊園地といった染色には珍しいモチーフを取り上げながら、独自の画面構成を迫及しています。

そうして、ろう染めによって評価を得た中村でしたが、1980年頃を境に、技法を友禪へと転換します。1984年に横須賀市西部の、海をのぞむ高台に住居を移したことによって、モチーフも大きく変化しました。横須賀で制作された、海や港をモチーフとした友禪によって、中村光哉は新境地をひらくこととなります。

本展では、横須賀や三浦を描いた友禪にくわえて、水戸市立博物館や東京国立近代美術館などが所蔵するろう染め作品など、約80点の屏風やパネルを通して、色あせないモダンな中村光哉の世界をご紹介します。



《楽器》1955年 水戸市立博物館蔵



《罐雲》1984年 東京国立近代美術館蔵
前期展示(3月15日まで展示)



《波と雲》1980年 水戸市立博物館蔵
前期展示(3月15日まで展示)

中村光哉 (なかむら・こうや)

1922(大正11年) - 2002(平成14年)

東京に生まれる。東京美術学校日本画科卒業後、父に染色を学ぶ。1946年第2回日展で《やなぎ》が初入選。1959年第2回新日展で《遊園地》が特選、北斗賞受賞。1962年より東京藝術大学にて染色の普及、後進の指導にあたる。1984年横須賀市に転居。1995年勲三等瑞宝章受章。

2月12日(日)は無料観覧日です

関連イベント

*詳細はHPをご確認ください。

ワークショップ

「見て・聞いて・染めて知る『友禪』」

友禪に関するお話や実演と、筆を使った「色挿し」体験。作品はお持ち帰りになります。

日時：2月25日(土) 10時30分～15時

*昼食・飲み物持参

講師：平林芳子(染色家) 対象：高校生以上

定員：抽選20名 会場：ワークショップ室

参加費：1,000円(別途、企画展観覧券が必要)

*事前申込制(2月12日[日]必着)

学芸員によるギャラリートーク

1. 大人向け

日時：3月18日(土) 14時～

*申込み不要、直接会場(1階展示室)にお越し下さい。

参加には観覧券が必要です。

2. 子ども向け

日時：3月18日(土) 11時～

クイズを解きながら、子どもと一緒に楽しく展覧会をめぐる。ご家族でご参加ください。

対象：5歳から小学4年生の子どもとその保護者

定員：抽選5組

*参加無料、事前申込制(3月4日[土]必着)。ただし、保護者の方は企画展観覧券が必要です。

アート&アフタヌーンティー

学芸員の解説つきでゆったりと展覧会を鑑賞した後は、館内併設のイタリアンレストラン「アクアマレ」で、特別アフタヌーンティーをお楽しみください。

日時：3月4日(土) 14時30分～16時30分

14時30分～ ギャラリーツアー

15時30分～ アフタヌーンティー

ゲスト：中村笠美氏(中村光哉夫人)

定員：抽選25名

参加費：企画展観覧券+1,300円

(アフタヌーンティー料金)

*事前申込制(2月18日[土]必着)

参加方法

事前申込制。参加希望の方は、イベント名、代表者の連絡先(郵便番号・住所・電話番号)、参加者全員の氏名・年齢を明記のうえ、はがきかEメール(art-event@city.yokosuka.kanagawa.jp)でお申し込みください(一通につき2名まで。ただし、子ども向けギャラリートークは家族単位でお申し込みください)。

イベント時に手話通訳や要約筆記が必要な場合は事前にご相談ください。

コラボメニューのご案内

■ 観音崎京急ホテル(美術館向かい)

1. レストラン「ル・ボ・リバーージュ」

中村光哉の世界を味わうランチコース
料金5,000円(サービス料込、税別)

観覧券半券提示で、1ドリンクサービス

2. ティー&カクテルラウンジ

横須賀の魚介を楽しむ特別メニュー

料金1,980円(サービス料込、税別)

観覧券半券提示で、SPASSO半額券プレゼント、ケーキが通常料金の半額

問い合わせ先 046-844-9080(レストラン直通)

■ レストラン・アクアマレ(美術館内)

アクアマレでは、企画展ごとに作家や作品にちなんだ、すてきな一皿をご用意しています。

問い合わせ先 046-845-1260(レストラン直通)

Present

会期中、お着物で観覧された方に中村光哉展の絵ハガキ2枚セットをプレゼントいたします(なくなり次第、終了)。お問い合わせの上、ぜひご来館ください。

同時開催

所蔵品展 特集 若林砂絵子/谷内六郎《週刊新潮 表紙絵》展 冬物語
(2017年4月10日～16日の間は展示替のためご覧になれません)

予告

デンマーク・デザイン展
2017年4月28日(金)～6月25日(日)

交通のご案内

【電車をご利用の場合】

- ・京浜急行「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から観音崎行きバスで「観音崎京急ホテル・横須賀美術館前」下車徒歩2分
- ・京浜急行「浦賀」駅から観音崎行きバスで終点「観音崎」下車徒歩5分

【お車をご利用の場合】

- ・横浜横須賀道路馬堀海岸I.C.から約3km
- ・駐車場(120台)：最初の1時間310円、以降150円/30分、上限1,510円/日(展覧会ご観覧の方は1時間無料) 無休

横須賀美術館
YOKOSUKA MUSEUM OF ART

〒239-0813 横須賀市鴨居4-1 TEL.046-845-1211(代表)
ホームページ：http://www.yokosuka-moa.jp/
モバイルサイト：http://mobile.yokosuka-moa.jp/